

題材名「表やグラフをつくってみよう」

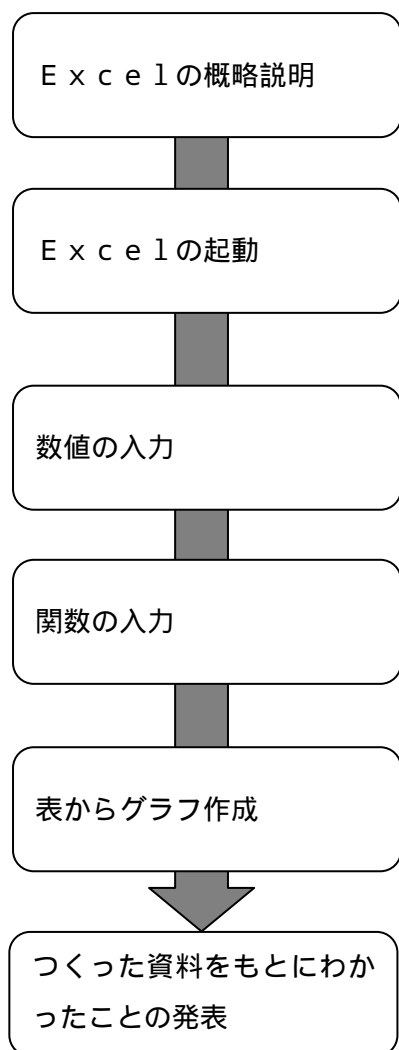
目 標

- ・表計算処理ソフトウェアを使い、数値データを処理し、レポートに必要な表やグラフを作ることを通して表計算処理ソフトウェアの機能について知る。
- ・目的に応じて、表計算ソフトウェアの機能を選択し処理できるようにする。

コンピュータを活用する利点

・多くの表計算ソフトウェアでは、グラフはその目的に応じて選択できるように数多くの種類が用意されている。立体型のグラフを用いると装飾面ではよいが、正確さを求める場合は、平面型のグラフを利用した方がわかりやすい。目的にあわせたレポート・資料作成が簡単にできること。

授業の流れ



ICT活用場面

表計算処理ソフトウェアは、生徒にとってなじみが浅いことが考えられる。特に関数について知っている生徒はかなり少ないと思われる。そのため、セルの概念、入力方法、計算方法などの基本的な内容については一斉に指導する。しかし、グラフや関数については生徒が自分の作品を制作する中で、必要に合わせて探していくように学習する。また、入力する値の参考にしたものはスーパーなどの広告、野球選手の個人成績など、日常生活で生徒自身が興味を持っているものの数値を扱う。

表とグラフを用いることで、生徒がさまざまなことに気づき、その気づいたことを他の生徒に説明をする機会をつくることで、生徒自身でつくった表やグラフをどのように使えば、たくさんの人に伝えることができるかを考えさせた。

成果と課題

表は比較的簡単に作成することができたが、関数の入力、グラフの作成には時間のかかる生徒がいた。自分の興味があることを題材に資料をつくれたので、積極的に学習することができていたと思う。

子どもたちは、表やグラフについては発表することをしっかり考えて作成することができたが、発表方法については初めてのこともあり、難しかったようである。

ICT活用環境等

使用周辺機器	パソコン、プロジェクタ
使用ソフト名	Microsoft Excel
使用教室	コンピュータ教室